

第1回試験（行政Ⅰ） 2018年度入庁 県立桃陵高等学校 主事 伊藤さん

○入庁のきっかけ

愛知県で生まれ育った中で感じていた食文化や観光などの魅力を県内外に発信できるような仕事に就きたいと思い、愛知県職員を志望しました。



○業務の内容

県立学校の事務職員として、支出・収入に関する業務などを行っています。桃陵高校は県内でも数少ない衛生看護科がある学校のため、実習用の人形や医療機器などの備品、授業で使用する医療系の消耗品の発注や管理をして学校運営が円滑に行えるようにしています。



○愛知県庁で働く魅力・やりがい

様々な分野の業務に挑戦できることが魅力だと考えます。以前は障害福祉課で福祉に関するガイドブック作成を担当していましたが、人事異動で全く違う教育分野の学校に配属になりました。異なる視点から職務に携わることで新たな知識を獲得し成長できることに非常に魅力を感じます。



○皆さんへのメッセージ・アドバイス

民間企業や他の行政機関など様々な選択肢がある中で、自分にあった仕事は何だろうと悩んでいる方も多いと思います。愛知県職員は非常にやりがいのある仕事なので、地元のために働きたい、地域の特色を生かした業務に従事したいなどの思いがある方はぜひ挑戦してください。

(掲載内容は2024年度当時のものです。)